

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第407号 平成18年11月



『カワセミ』(Alcedo atthis) 細谷 純一郎

目 次

	頁		頁
1) 第4回会館建設準備委員会開催	広報部 … 2	7) 各部だより	
2) 専門医に学ぶ	古川秋生 … 3	学術部インフォメーション	学術部 … 13
3) 感染症だより	西多摩保健所 … 5	8) 青梅市立総合病院外来診察分担表	広報部 … 18
4) 広報部インフォメーション	広報部 … 6	公立福生病院外来診療担当医表	
5) 連載企画		公立阿伎留医療センター外来部門診療担当医表	
アオマツムシと広告サーチライトと一車線渋滞と		9) 理事会報告	広報部 … 22
片倉和彦 … 8		10) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 25
愛犬の独り言	江本 浩 … 8	11) 表紙のことば	細谷純一郎 … 26
出世	鹿児島武志 … 10	12) あとがき	野村中夫 … 26
6) 伝言板	広報部 … 11	13) お知らせ	事務局 … 27

第4回会館建設準備委員会

10月17日(火) 西多摩医師会館において

議題：建設予定候補地の詳細検討

10月17日に第4回会館建設準備委員会が医師会館において開催された。

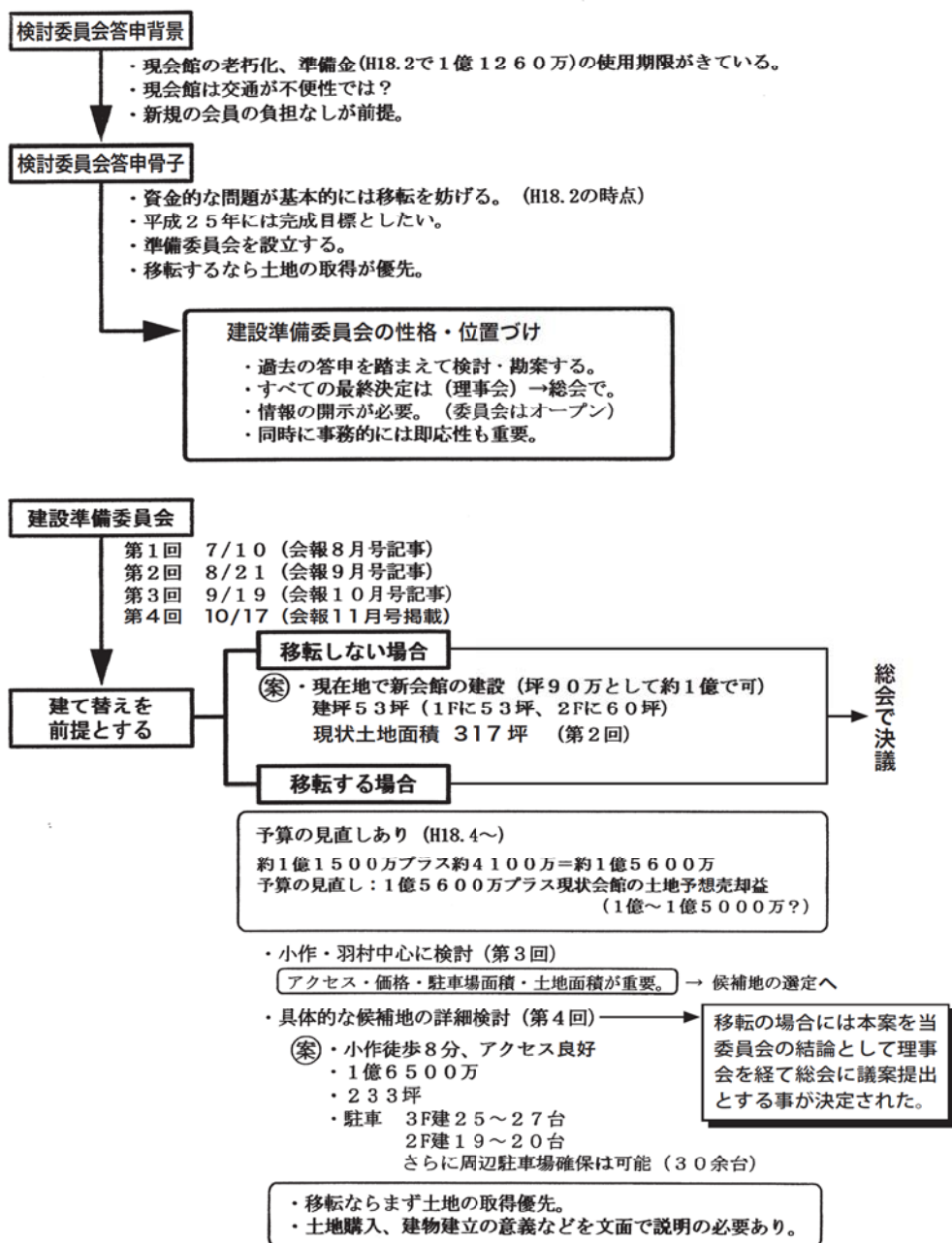
今回のテーマは前回の会議で検討の結果、最も候補地として適していると思われる物件についての詳細な報告と検討がなされた。

ここで今までの経過の概要をチャートにより示す。

まとめ：移転を前提にするのであれば、1. 土地の取得を優先する。2. 委員会として移転、建設の意義を説明する方向でまとめる。大筋で以上の2点が賛意を得た。本案を理事会、総会に提出することが決定した。

広報部（文責：鹿児島武志）

現在までの経緯について



専門医に学ぶ 第23回

問題

【症 例】 82 歳 男性

【主 訴】 腹痛 嘔気 発熱

【現病歴】 平成 18 年 8 月 12 日より 37 度後半の発熱と腹痛が出現した。

13 日、腹痛は軽快したが 14 日夕方より悪寒と 38 度の発熱を認めたため近医より紹介され当院を受診した。

【既往歴】 平成 11 年 急性膵炎にて入院。以降近医にて半年ごとに外来経過観察
一ヶ月前より左顔面痛。

【入院時身体所見】

体温 38.1 度 血圧 111/86 脈拍 115 貧血なし 黄疸なし 右季肋部に圧痛を認めた。

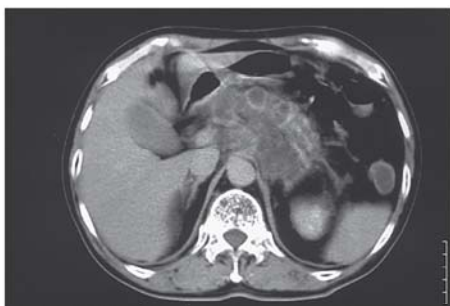
【入院時検査所見】

WBC 9700/ μ l CRP 14.74 mg/dl 他、血清アミラーゼ、胆道系酵素に異常を認めず
入院後単純 XP にて胃の拡張を認めたため胃管を挿入し、膵炎の既往もあるため CT
を行った。(図 1)

CT では主膵管の著明な拡張を認めた。また、平成 11 年より近医にて半年ごとの経過観察を受けていたため、以前の CT の所見も検討した (図 2)。



【図 1】



【図 2】

問題 1. この時点で考えられる疾患と次に行う検査は？

問題 2. この症例に対して行った治療は？

解答と解説

公立福生病院 外科医長 古川 秋 生

**■問題1に対する解答**

慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍（以下 IPMT）、通常型膵癌 他

以上を鑑別診断に挙げ MRCP（図3）および ERCP（図4）を行った。MRCP では主膵管の拡張と周囲の多房性 cystic lesion、ERCP では主膵管の狭窄と尾側膵管の嚢胞状の拡張を認めた。また、ERCP 時、ファーター乳頭より粘液が分泌され、細胞診は Class V であった。

IPMT、もしくは浸潤性膵管癌を疑い手術を予定した。

■問題2に対する解答

術前診断 IPMT もしくは通常型膵癌

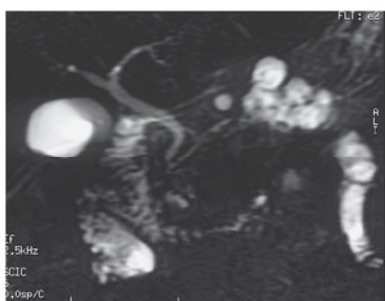
術式 膵体尾部切除 切離部位は検体の膵管を造影し決定した。

病理（図5、6） Intraductal papillary-mucinous tumor (IPMT)

Intraductal papillary-mucinous adenoma suspected

Moderate to focal severe dysplasia → border line

IPMT 膵管内乳頭粘液性腫瘍は、悪性度の高い通常型膵癌に比較して、緩徐な膵管内発育を特徴とする腫瘍で、最近 20 年間に確立された腫瘍概念である。画像検査上、粘液貯留による主膵管のびまん性拡張や嚢胞状拡張がみられ、ERCP では乳頭口の開大と粘液の排出が特徴である。国際分類では IPMT は benign, borderline, malignant の三つに分けられ、膵癌取扱い規約では腺腫 IPMA(adenoma) と腺癌 IPMC(adenocarcinoma) に分けられている。IPMT の中には腫瘍細胞の悪性度は低いにもかかわらず浸潤、転移を認める例があり、疾患の経過観察には注意が必要である。膵炎に伴う主膵管の拡張は臨床上よく認められる所見であるが IPMT、膵癌を選択肢の 1 つに数えるべきである。また、IPMT を疑った場合の経過観察と手術の方針決定であるが、この症例においては近医にて腫瘍性病変も念頭において経過観察がなされていた。当院では、主膵管型は原則手術適応、分枝型は嚢胞径 30mm 以上かつ主膵管径 8mm 以上、明らかな結節状隆起があるものは手術適応としている。



【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

感染症だより

<全数報告>

第40週にアメーバ赤痢の報告が1件ありました。感染経路は異性間（経口）性的接触と推定されています。

<定点からの報告>

	37週	38週	39週	40週	41週	2006年 累計
	9.11～17	9.18～24	9.25～10.	10.2～8	10.9～15	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	2
インフルエンザ	0	0	0	0	0	1,572
咽頭結膜熱	4	2	1	0	0	116
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	1	1	1	1	173
感染性胃腸炎	3	7	16	25	22	776
水痘	1	1	6	3	8	256
手足口病	7	4	6	4	8	127
伝染性紅斑	1	0	1	4	5	77
突発性発しん	4	0	6	2	6	110
百日咳	0	0	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	1	0	0	0	90
麻疹(成人以外)	0	0	0	0	0	2
流行性耳下腺炎	3	7	3	3	3	176
不明発疹症	0	0	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0	0
合計	27	23	40	42	53	3,478

※基幹定点報告対象疾病<細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)、成人麻疹>：マイコプラズマ肺炎は第37週に1例、38週に2例、40週に3例の報告がありました。

<コメント>

全国的には咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎の報告数が多い状況です。これに加えて第38週から伝染性紅斑、百日咳が増加しています。

都内で全国レベルと同等か上回るのは、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑、マイコプラズマ肺炎です。北区ではインフルエンザ(A型)の報告がありました。

管内では感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑が増加しています。

<お知らせ>

都内の西多摩管外のケースで、コレラ症例に抗生剤を投与しても改善せずので再検便を行ったところ、赤痢菌とカンピロバクターが検出されました。コレラ菌は耐性がなかったのに対し、赤痢菌とカンピロバクターは耐性菌であったのが原因です。海外旅行者下痢症ではこのような重複感染と薬剤耐性菌による感染がしばしばみられるため、注意が必要です。

感染性胃腸炎は例年、冬になると増加します。管内では既に感染性胃腸炎の報告が増加し、集団発生が複数起こっています。多くの場合に原因となるノロウイルスは感染力が極めて強く、初発例の対応が不十分であると容易に二次感染や集団発生につながります。とくに施設内での嘔吐をきっかけに感染拡大をきたす傾向があります。嘔吐・下痢の患者を診察した際には感染予防策の指導をお願い致します。

(文責：西多摩保健所保健対策課)



広報部 Information



秋も日々に深まり、昨今の天気模様は時として変わりやすく肌寒い朝を迎えることもしばしばです。今秋からの新企画として今月号より2つの内容を会報に加えてみました。

日頃は診療に追われてまともに読書をする暇のない（このあたりは診療科により実は大いに異なるのですが）会員の先生方に一押しとまではいかなくともお勧めがあった書物を並べてみました。よく読まれているということが優良書に該当する訳ではありませんが、参考になればもくろみは達成されたことになります。なにぶん今回は初めてという事情もあり、売れ筋ランキングとしてまとめてみました。従ってジャンルは区別してありませんのでご容赦下さい。

2つめの企画はお勧めインターネットサイトです。編集委員がネットサーフィンおたくという訳ではありませんが、面白サイトを自分で見出すのには意外に時間と労力を要するのではないのでしょうか。試しにいかがでしょうか？

広報部では、会員の先生方のご意見、ご要望、アイデアをお待ちしています。

◆ 全国書店売れ筋ランキング

1位：邪魅の雫 京極夏彦著 1680円 講談社

ミステリー好きって多いんですね。

2位：鏡の法則 野口嘉則著 1000円 総合法令社

「読んだ人の9割が涙した！」と帯に書かれています。私は残りの1割だろうと思って読み始めたのですが、36頁では涙を抑えることができませんでした。

3位：池田大作の軌跡 「池田大作の軌跡」編集委員会 1000円

4位：美しい国へ 安部晋三著 767円 文芸春秋社

まとめると国家のために生命を賭けることを厭わないという考えが国の支柱にあると、その国は「美しい国」になるそうです？？

5位：恋空 上 美嘉著 1050円 スターツ出版社

6位：DRAGON BALL Z sparking! NEO 新武闘書 PS2版 1100円

ゲームの攻略本てこんなに売れるんですね。ある意味景気が良い証拠？

7位：憲法九条を世界遺産に 太田光・中沢新一著 693円 集英社

爆笑問題の太田光と宗教学者の中沢新一という組み合わせだけでもユニークなのに加え、今どきの流れに逆らうようなこだわりの憲法九条擁護論、しかも宮沢賢治やらアメリカ先住民の思考まで絡めた議論には少なからず驚きました。前のめりの改憲論が飛び交う中、本当に世界遺産のような一冊と思います。

8 位：病気になる生き方ミラクルエンザイムが寿命を決める 新谷弘美著 1680 円
サンマーク出版社

全米 No.1 内視鏡外科医だそうです。

9 位：狼花 大沢在昌著 1680 円 光文社

10 位：若者はなぜ 3 年でやめるのか？ 城繁幸著 735 円 光文社

以上ベスト 10 でした。コメントはかなり偏ったものなので気にしないで下さい。

◆ 私のインターネットお勧めサイト

- 第一生命「サラリーマン川柳」 <http://event.dai-ichi-life.co.jp/senryu/>

言わずと知れた「サラ川」です。新聞や単行本でも出ておりますが、手軽に観ることができます。私は別に川柳に興味があるわけでもなく、サラリーマンでもなくなりましたが、以前たまたま大学の医局で上の先生が観ているのをみてはまってしまいました。

最近是不景気ネタより奥さんだけ贅沢ネタが多いのは世情を反映しているのでしょうか。

- J-WAVE GOOD MORNING TOKYO 公式サイト <http://www.j-wave.co.jp/original/gmt/>

FM ラジオの J-WAVE (FM 81.3) で 7:00 ～ 9:00 にやっている番組の公式サイトです。

インターネットをされる方の中にはニュースサイトを見られる方が多いと思いますが、私は時々このサイトを利用しています。

このサイトの中に click on news というテレビや新聞のトップニュースから海外のローカルニュースまで掲載されている部分があり、その中で気になる項目を click するとその項目にポイントが入り、今、世間（リスナーの間）ではどのニュースが気になっているかがランキング形式に分かるという仕組みになっています。また、その情報が番組内でも紹介されます。

もともと通勤時にカーラジオでなんとなく聴いていたのが始まりですが、時々朝刊を読む感覚でサイトをチェックし、通勤時にそれが何位かをラジオでチェックしています。

- BIT ストリート <http://www.bit-st.jp>

特にこのサイトという訳ではないのですが、各地域情報や地元のクチコミなどをチェックするのにインターネットは大変便利なアイテムだと思います。大手プロバイダーサイトや行政などのサイトでも情報は得ることができますが、自分のクリニックや病院の評判なんか気になる場所ですね。こちらのサイトでは駅名から検索して周辺の飲食店やイベント情報、医療情報などが見ることができ、また情報を載せることもできます。どの駅のアクセスが多いかなんてこともわかります。

以上、私は基本的に情報がほしい時やチケット購入や旅行の予約くらいしかインターネットを利用していませんが、暇な時などはこのようなサイトを利用しています。

連載企画

アオマツムシと広告サーチライトと一車線渋滞と

奥多摩町 双葉会診療所 片倉和彦

妻に言わせると、私はヘンクツなところがあるらしい。

今の時期、奥多摩では、朝と夜、スイッチョスイッチョ、ギーギー、リーンリーンと響く。朝4時台の虫の声は不思議な波があつて気持ちがいい。奥多摩には街路樹は少ない。

ところが、近年、夏から秋にかけて、都会に行くと、夜にピーというやかましい音が鳴り響いている。車で行くと、二俣尾の辺りから新宿までずっと響いている。この音の主はアオマツムシ。明治時代に外国から入ってきて最近増えてきた虫である。街路樹で一生を過ごすという。数匹だとコオロギの鳴き声なのだが、数が増えるとピー、という高い高い音となり、人工の音にも聞こえてくる。

どうもこの虫の声は苦手だ。ということをお茶を飲みながら話したら、周りの人は、へーえ、そんな音が気になるのですか、というふうだった。中には、そんな虫の声は聞いたことがない、という人もいた。妻も、ぜんぜん気にならない、むしろ河辺の西友の前の木にたくさん止まっているすずめの声なら気になるけど、と言った。

妻が気にならなくて私が気になるものに、夜のサーチライトがある。圏央道とか、山梨県内中央道とか、東北道を走っていると、パチンコ屋やラブホテルが夜空にサーチライト



を回している。これと同じことを灯台がやっているならばぜんぜん気にならないのだが、ホテルがやっているお腹が立つ。みんなの夜空に何をしやがる、という気持ちになってくる。いちいち怒っていたら、妻が、「もし運転に邪魔になることがあったらそのとき怒ればいいのよ」、と言った。

青梅街道が千ヶ瀬のバイパスにおりるがってん寿司の前の信号、関越道大泉ジャンクション、首都高速の分岐点、など、目的地に行く車線が渋滞していて、その隣の車線は空いているとき、私はその渋滞している車線でじっと待っていて、隣の空いている車線から横入りする車に腹を立てていることが多い。それをうちのスタッフに話すと、「そのとき急いでいるかどうかで待つか横入りするかを選べばいいだけのことじゃないですか」と言った。なるほどと思った。

愛犬の独り言

青梅市 梅郷診療所 江本 浩

私の名はピグ。江本家一番のかわい子ちゃんよ。生まれたばかりのとき兄弟の中で一番ブタさんみたいにコロコロしてたからかおり姉ちゃんがPIGUってつけてくれた。初めて会った時、あさみ姉ちゃんのことついカミカミしたら、「この子だけは選ばないで」ってお姉ちゃんは言ってた。でも6匹の兄弟の中からパパは私を選んでくれて江本家の三女になったよ。ではまず自己アピールから始めます。

私は青梅生まれの福生育ちのラブラドル。もうすぐ5歳。趣味はスポーツと旅行。スポーツは野球、サッカー、バレーボール、ゴルフ、ボールを使うものなら何でも好き。特にサッカーだったらまだ若い子にだって負けないわ。キックだけでなくドリブル、トラップ、ヘディングだって得意だから、ナデシコJAPANでプレーするのが将来の夢。野球も大好き。いつもパパとキャッチボールして遊ぶんだよ（どちらかと言うと軟球より硬球の

噛み心地が好きかな?)。私が今まで旅行した場所で一番好きな場所は八ヶ岳だよ。広いペンションに家族みなでお泊りして広いドッグランでお友達と遊べるんだ。毎年連れて行ってくれないかなー。私の得意技は「早食い、大食い」「お手、伏せ、ゴロン」「待て」はできるけどキライ。好きなものはドッグフード、肉、魚、パン、お菓子、バナナ、嫌いなものはなし(強いて言うなら椎茸)。私の美容と健康の秘訣は一日二回のお散歩。朝はたいてい福生駅まで往復3kmをパパとジョギングするよ。お休みの日は大好きなボール遊び。だから29kgの体型を維持できるんだよ。

うちの家族のこと、ちょっとだけ内緒で教えてあげるね。パパとママとお姉ちゃんが二人いるんだけど、私が一番好きなのはもちろんパパ。だって毎日必ずお散歩に連れて行ってくれて、ボールで遊んでくれるから。パパのお仕事はよく知らないけど日曜日はしょっちゅうゴルフのお仕事におでかけしてる。私も含めて他の家族みんなはゴルフなんて興味ないの。この前もパパがホールイン何とかってのをやったって嬉しそうに話してたけど、ママもお姉ちゃんもフーンて感じ。日曜日くらいもっとたつぷり私を公園に連れて行ってサッカーして遊んで欲しいなー。

ママはいつも美味しいご飯をこしらえて食べさせてくれたりお腹をナデナデしてくれるから、パパの次に大好き。でも私が大きくなっ

てからお散歩には連れてつてくれないの。私と一緒に歩くと肩こりがしちゃうみたい。もう、年なのかなー。

上のお姉ちゃんのあーちゃんは今年の春、大学生になったの。あたしから見れば、そんなにお勉強してる風には見えなかったけど。でも、大学生になれたとたん、サークルとか毎日楽しそうに出かけては、夜な夜な遊んで帰って来るみたい。おかげで私は熟睡しなかった頃に玄関の鍵を開ける音で目が覚めちゃう。お願いだから夜は10時までには帰って来てね。

下のお姉ちゃんのかおちゃんは、高校生だから朝一番早く学校に行くよ。あたしもかおちゃんが出かける時にパパの自転車に引かれて走るんだよ。お散歩と一緒に学校に行くよ。正確にはおうちから駅まではかおちゃんが自転車に乗ってパパは私と競争して駆けて行くんだ。でもかおちゃんが寝坊して遅刻しそうになるとパパに車で送ってもらうことがあるよ。そういう日は私の大事なお散歩の時間が短縮されちゃう破目になるの。学校の仕度はちゃんと寝る前にしとかなきゃね。

こんな家族に囲まれて、私は「食べて」「遊んで」「寝て」の幸せな毎日を過ごしているよ。いつまでも家族みんなが健康でいてくれたら私は嬉しいなー。私も長生きしてみんなを喜ばせるからね。

読者の皆様こんな私の独り言を聞いて下さってありがとうございました。





出世

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

洋の東西を問わず、他人に認められて地位なり評価が上がり、出世につながれば、これを疎ましいものとは思ふ人はいないだろう。Jカーブで常に上昇志向のある人種には洋の東西どころか男性、女性さらには老若男女の垣根を越えて、とにかく自分の実力が認められることは喜ばしい（はずだ）。問題があるとすれば、自分がそう思っている自己評価が、周囲の人間の評価と実は大きな隔たりがある場合、また評価が正しいと自他ともに認められても、却って他人の嫉み、恨みや反発をかうことだろうか。嫉妬といえば人間界では俗世間だけでなく宗教の世界でも、例えば塩野七実氏の小説のなかでは、中世のイタリアでのカトリック教徒の頂点に君臨する法王をめざして権謀術数の中で生死をも賭けて相手を蹴落とす主人公たちのかもし出す邪悪なエネルギーは半端ではない。きっと小説の世界だけではなく、当時の現実世界でも事情は同じであつたろうかと思う。この感情は人間界に限ったことではない。

我が身以外から人間の関心が他に移ると、例えば犬や猫でも嫉妬するというが、実際、この事実は実家で飼っている老犬の声音や彼のその後の動きからもよく判る。何しろワザとらしく飼い主に世話をかけさせる。普段以上に小便をしに外に出たがり、すねたりもする。飼い主が困ればよいと本能的に思っているらしい。

ところで悲喜こもごもの現実界のさまざまな「出世」は虚構の世界では大いに人気を呼ぶ。しばらく前のことだが、帰宅途上の遅い時刻の電車に乗った時のこと、向かい側の棚に漫画本が置き捨てられていた。普段は買ってまで読もうという気はまずおきない漫画本なのだが、そして朝の通勤電車内で真剣な眼差しでじっと漫画本に読みふけているオトナを冷やかな目でみている私だが、このようなタイミングは滅多にないのだ。幸い他の乗客はかなり離れて座っていた。ほおって置

く理由もないし、それじゃあと、なにげにサッと手に取って表紙をめくってみる。おや、知っている主人公がまだ元気になっているではないか。雑なタッチの絵柄が多いなかページをめくり直ぐに分かったのは、ある一定の年齢以上の先生方ならきつとご存知だろうが、あの「課長島耕作」シリーズであつた。何でこんなに社内外を問わずに大活躍して、バリバリと仕事はかどるの。何でこんなに病氣もしないでハツラツ元気なの。そしてどうして素人からプロの女性まで、こんなにもてちやうの？ うーん。やっぱり耕作はヒーローなのだ。思い出してみると、毎回、目出し&愛でたして話がひとつひとつ進行してゆく。虚構の世界では主人公の大活躍を恨む者など誰もいない。善悪の世界で常にヒーローは勝ち組となっているし、読者もそうあれと心の底では願っているだろう。そして結果に妙に納得してしまうのだ。

ところで、彼は私の知らない間に4、5年間中国に赴任してメジャーの初芝の発展に貢献したことで、なんと部長から今や常務になっていた。

おりしも実際に新首相の訪問により対中国、韓国の国交関係が以前より改善されたとの向きがある。この事実にストーリー展開を合わせた訳ではないだろうが、彼はこれから現地に滞在して、さらに会社の為、そして読者も期待する自身の出世の為に大活躍するのだろう。幸か不幸か出世もない代わりに、転勤や明確なリタイアの時期も定かでない医師会A会員としては大なる想像の世界で人生を闊歩する島常務の今後を見守っていたい。ところで最新号では、課長島耕作氏は喫茶店と同じ漫画本があつたので分かったのだが、さらに出世街道を驀進中で、ついに次回からは専務に就任するという。こうなったら、また車内で、ひっそりとお目にかかる機会を期待したいと思っている。ひょっとするとこの調子では何年後かには社長かな。オッサン頑張れ。

伝言板

① 公立福生病院医師会合同症例検討会のお知らせ

日 時：11月20日（月）19：30～

場 所：公立福生病院 新館4階会議室

② 第38回 西多摩医師会写真展のお知らせ

第38回西多摩医師会写真展を11月21日（火）より27日（月）まで羽村市コミュニティセンター2階ロビーにて開催する予定です。27日写真展終了後、写真家柳内正義先生をお招きして写真の品評会を行う予定です。写真に興味のある会員は、写真部松原部長までご一報下さい。

③ 東京都西多摩地区PDNセミナーのご案内

主催：高木病院

NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク

後援：西多摩医師会

日 時：平成18年11月24日（金）18：30～21：00 受付18：00～

場 所：高木病院

演 題：1. コ・メディカルにむけての胃瘻のトラブル対策
2. 質疑応答

講 師：PDN セミナー講師 岡本 忠先生

高木病院 統括副院長

定 員：約60名

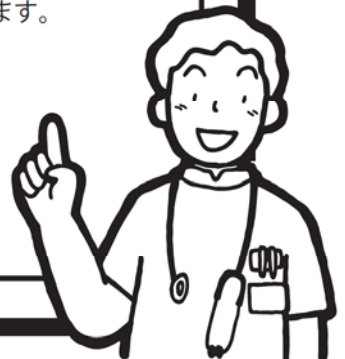
参加費：1,000円（テキストは希望者に販売1,500円）

*尚、本セミナーに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社メディコン

横浜営業所 胃瘻製品アドバイザー 近藤

TEL 090-6203-9728 FAX 020-4624-6633



④『忘年クリスマス会』開催のご案内

会員の皆様にはお変わり無くお過ごしのことと存じます。さて年末の恒例となりました『忘年クリスマス会』を下記にて開催致します。各地区及び会員各位の相互理解の増進と地域医療の発展を期し、勤務医、職員、ご家族の方々にも多数で参加頂き、例年同様賑やかに本年を締めくくりたく存じます。

皆様お誘い合わせの上、是非ご出席下さい。

日 時：12月11日(月) 午後7時30分～9時30分

場 所：昭和の森 フォレストイン昭和館 Tel 042-542-1234

会 費：A会員 15,000円

B会員 5,000円

ご家族・職員 4,000円(お子さま無料)

余 興：①マジックショー(羽村マジッククラブ)

②歌とトークショー(シャンソン歌手 湯川あきさん)

楽しいイベント盛りだくさん 豪華景品の福引きもあります
お気兼ねなく軽装でおいで下さい

⑤平成19年 新年賀詞交歓会 開催のご案内

日 時：平成19年1月20日(土) 午後6時～

場 所：青梅市福祉センター「ふよう」

会 費：5,000円

余 興：ピアノ五重奏(国立音楽大学のメンバーによる)



各部だより



学術部

Information



《11・12月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

- 1 日時：平成 18 年 11 月 21 日（火）19:30 ～
場 所：青梅市立総合病院 南棟 3 階講堂
演 題：『One airway, One disease －気管支喘息の最近の考え方－』
講 師：昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科 医長 國 分 二三男 先生
- 2 日時：平成 18 年 11 月 29 日（水）19:40 ～
場 所：青梅市立総合病院 南棟 3 階講堂
演 題：『イベントフリーの老後を目指して』
講 師：東京大学医学部附属病院 検査部 講師 下 澤 達 雄 先生
- 3 日時：平成 18 年 12 月 8 日（金）19:40 ～
場 所：羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」2 階 講座室
演 題：『マクロライド新作用とインフルエンザへの応用』
講 師：日本医科大学付属病院 呼吸器感染腫瘍科 助教授 吾 妻 安良太 先生

《学術講演会要旨 1》

日時：平成 18 年 8 月 28 日（月）

場所：公立阿伎留医療センター 講堂

演題：「貧血と白血病の新しい治療」

講師：日本大学医学部 血液膠原病内科 竹 内 仁 先生

◆貧血

貧血の分類は、一般的には赤血球の大きさ（平均赤血球容積＝MCV）によっているが、本抄録では「治る貧血」と「治りにくい貧血」に分け、前者について述べる。

「治る貧血」の代表格は鉄欠乏性貧血であり、MCV 低値で、Fe 低下、UIBC 上昇、フェリチン低下で診断される。治療は鉄剤投与であるが、出血源の検索を忘れてはならない。成人女性の月経過多による鉄欠乏性貧血で、鉄剤を中止すると繰り返す症例がある。この

ような場合には、週に1回50～100mgの鉄剤を継続投与するとうまくいくことが多い。

自己免疫性溶血性貧血は、MCVは正常で、間接ビリルビン高値、LDH高値、ハプトグロビン低下、ヘモジデリン尿があり、クームス試験陽性で診断される。多くの場合は原因不明であるが、悪性リンパ腫やSLEに合併したり、薬剤が原因のこともある。一般的にはステロイドの投与で速やかに軽快する。

ビタミンB₁₂欠乏による巨赤芽球性貧血は、食欲不振などの消化器症状や手足のしびれなどの神経症状を伴うことがあり、貧血でこれらの症状がある場合は、本疾患を疑う必要がある。MCVは高値で、血清B₁₂低下で診断される。胃切除後の症例が多い。治療は、B₁₂の非経口投与で速やかに軽快する。

◆白血病の新しい治療

慢性骨髄性白血病（CML）は、HydroxyureaやInterferon α によく反応し寛解を得ることはさほど困難ではないが、ほとんどの症例が急性転化をきたし死亡する。発症から初診までの期間が患者により異なるため、急性転化までの期間は3.5～7年とされており、造血幹細胞移植（HCT）以外に治癒に導く方法はなかった。

2001年12月にimatinib mesylate（IM）が登場してから、CML慢性期の治療は劇的に変化した。IMはCMLに特異的なBCR-ABL蛋白に選択的に結合し、基質（Substrate）の磷酸化を阻害することにより、BCR-ABL特異的TKを阻害する。その結果、腫瘍細胞の増殖を抑制し、アポトーシスに導くとされている。すなわち、従来の化学療法と異なり、腫瘍細胞だけを選択的に阻害する画期的薬剤である。

未治療CML慢性期の効果については、欧州の多施設共同研究で明らかになっている。中央値42か月時点までの追跡調査では、生存率94%、無進行生存率（progression free survival = PFS）は84%であった。驚くべきことに、CMLに特徴的な染色体異常であるPhiladelphia（Ph）染色体が完全に消失した症例は76%に達している。これらの症例の54か月時点での予測PFSは97%であり、このような症例では、IM以前には一般的であったHSTはもはや適応ではないと考えられている。しかし、IMを中止すると、疾患の進行のみられる症例の多いことから、IMの中止は、現時点では選択しづらい。

Ph染色体陽性の急性リンパ性白血病（ALL）は、成人の約25%に認められ、寛解率が低く、寛解しても化学療法ではほとんどの症例が再発死亡している。日本の成人白血病治療共同研究グループ（JALSG）では、Ph陽性ALL患者に、imatinibと化学療法を併用した寛解導入療法を行い、寛解後療法として大量化学療法とIMとを交互に行うJALSG Ph+ALL202治療を行った。寛解率は96.2%で、寛解までの期間の中央値は28日、BCR-ABL遺伝子の消失が確認された症例は71.3%であった。特筆すべきことは、非寛解3例のうち2例は早期死亡で、1例はイレウスのために投与中止した症例であり、投与を継続できた全例が寛解したことである。第一寛解期の幹細胞移植は39例に行われ、これらの症例も含めた1年での無病無再発生存（Event free survival = EFS）率は60%、全生存（Overall survival = OS）率は76.1%と従来の成績を凌駕するものであった。

《学術講演会要旨 2》

日時：平成 18 年 9 月 27 日（水）

場所：青梅市立総合病院 南棟 3 階講堂

演題：「メタボリックシンドロームのマネージメント」

講師：国家公務員共済組合連合会立川病院 健康医学センター 部長 佐藤 秀昭 先生

従来欧米では動脈硬化の予防といえばコレステロール低下等が主であったが、日本でも必ずしもコレステロール値とは関連のない心筋梗塞、脳梗塞の発症者の増加がみられた。コレステロールのみならずトリグリセライドもリスクファクターのひとつであり、フェノフィブラートによる大規模臨床試験『FIELD』が発表された。また、動脈硬化の背景因子として同一個人に生活習慣病が重複するマルチプルリスクファクター症候群が提唱され、糖尿病と動脈硬化性疾患（心筋梗塞、脳梗塞）を予防するターゲットとしてメタボリックシンドローム（以下 Mets）として統一され、日本でも 2005 年 4 月にウエスト周囲系が内臓脂肪蓄積に見合うマーカーとして日本版 Mets が発表された。

- ① 今回地域健康診査によって検討された 2600 名（男性 885 名、女性 1715 名）において Mets 群、Mets 境界域群、危険因子重積群、対象群と分け、性別で検討した。男性では高齢になるに従いウエスト基準値以上の割合が減少し Mets 群、Mets 境界域群、危険因子重積群が減少していた。女性は Mets 群、危険因子重積群の増加がみられた。
- ② Mets 構成危険因子における 3 年間の経年的動向をみると、Mets ではなくても Mets の危険因子を有するほど 3 年間の経過で Mets へ移行することが認められた。
- ③ 生活習慣病の是正として体重減少を行った例では、生活習慣病関連検査値の改善が見られた。食事指導、運動指導併用群でウエストの減少が多くの例で見られたが、ウエストがわずかであるが増加する例が食事指導単独群で多い傾向にあった。

症例提示として

I Mets の糖尿病患者で肥満の改善により、糖尿病の改善、合併症の改善がみられた症例

II Mets の高血圧患者で急性心筋梗塞を発症した 40 歳男性例
を提示する。

Mets は中年ばかりでなく高齢者においてもポピュラーな病態であり、緊急性を要するハイリスクな状態ではなく、それぞれの危険因子が軽症であり放置される可能性が高い。Mets では長期にわたり治療が不完全な状態なおかれ、軽症でも重複することにより重症な病態を形成する。非肥満者においてもウエスト周囲系が内臓脂肪蓄積のマーカーとなり、血圧、糖代謝及び脂質代謝異常を合併して Mets となり動脈硬化性疾患を発症させる可能性が考えられた。

《学術講演会要旨3》

日時：平成18年10月4日（水）

場所：公立阿伎留医療センター講堂

第一部：演題「急性心筋梗塞治療の問題点」～プレホスピタルケアと重症ポンプ不全の対策～

日本医大付属病院院長（第一内科主任教授）高野 照 夫 先生

第二部：症例 ① 川 口 卓 治 先生 青梅市 東青梅診療所

② 島 井 新一郎 先生 福生市 島井内科小児科クリニック

③ 田 中 穂 積 先生 青梅市 田中医院

第15回西多摩心臓病研究会報告

10月4日に公立阿伎留医療センター講堂において行われた。第一部の特別講演では日本医大付属病院院長（第一内科主任教授）の高野照夫先生が「急性心筋梗塞治療の問題点」～プレホスピタルケアと重症ポンプ不全の対策～というテーマで約一時間にわたりお話された。高野先生は地元青梅のご出身ということもありアットホームな雰囲気の中で大変解かり易く講演していただいた。先生は日本医大の集中治療室部長として勤務され東京都CCU連絡協議会会長としても多大な功績を残された。そしてご自身が長年にわたりご尽力されて来られた急性心筋梗塞治療について以下の内容をお話された。

AMIの治療においては三つのポイントがある。まず一つめはプレホスピタルケアである。心筋梗塞の院内死亡率は血栓溶解療法やPCIなどの冠再疎通療法などの発達により7%前後までに改善されたが、一方で病院到着前死亡率はいまだに40%近いと考えられおり、その大部分は不整脈死である。即ちAMIが発症した直後にいかに心室細動による心臓突然死を予防するかが真の救命率を向上させるためには重要である。最近一般市民でも使用が許可された半自動除細動器（AED）をさらに普及させること、そして今後さらに心臓病患者家族のみならず一般市民に対するBLS教育などに力を入れることが大切である。二つめのポイントはいかに正確かつ迅速に診断するかということ。AMIの診断基準としてかつてはCK-MBの正常値の二倍以上の上昇が用いられたが、近年ではトロポニンTの上昇（トロップテスト陽性）を用いることにより診断の精度が約30%近く向上された。また診断の特異度は低いH-FABPの定性試験（ラピチェック）は感度が高い検査法である。さらに大動脈解離との鑑別診断にはD-dimerの定性試験も有用である。三つめのポイントは重症ポンプ不全（心不全）に対する対策である。再疎通療法の確立により心原性ショックの救命率は改善されたが、それでも重症心不全を合併する例がある。それらに対する治療法として急性期にはカテコールαミ製剤やPDEⅢ阻害薬などの薬物療法、PCPSやIABPなどの補助循環装置などが用いられ治療成績も改善されて来た。しかしこういった治療法にも限界があるようないわゆる慢性難治性心不全症例に対して新たな治療法の確立が望まれる。その一つは心移植であるが現時点では問題点が多く本邦では普及されていない。移植以外の新たな治療法として、日本医大ではバイパス手術と同時に骨髄単核細胞を梗塞部心筋に注入すること（Cell transplantation）により血管新生（Angiogenesis）を促す心血管再生治療を10例の患者に行い良好な成績（左室駆出率の改善）が得られたとのことである。さらにAMIの予防には予備軍であるメタボリックシンドロームの是正が重要であること、AMIの発症は統計によると3月と12月、月曜日と土曜日、午前9時と午後7時に多いこと（交感神経の緊張やストレスの関与）などを追加して講演を終了された。

第二部の症例検討会では当番幹事の野本先生の司会で3題の症例提示があり活発な討

論が行われた。1 題めの症例は東青梅診療所の川口先生から提示された。36 歳女性、主訴は胸痛、ECG は房室解離でホルター心電図でも房室解離と心室性期外収縮を認めた。胸痛と ECG 異常との因果関係はなく房室解離については経過観察が必要と考えられた。2 題めの症例は島井内科小児科クリニックの島井先生から提示された。36 歳外国人男性、主訴は胸痛、初診時の心電図では有意な心電図異常を認めず AMI の診断が困難であったが、血液検査にて逸脱酵素とトロポニン T の上昇を認めた。三日後の心電図でも異常 Q 波を認めず、II III aVF で新たな S 波 (R 波の減高) を認め、左回旋枝領域の梗塞による所見であろうと推測された。この例は患者さんの同意が得られず CAG は施行されなかった。診断におけるトロップ T の有用性が示唆された。3 題めの症例は田中医院の田中先生から提示された。62 歳女性、主訴は胸痛、広範囲の誘導において ST 低下 (aVR で ST 上昇) を認め狭心症と診断した。ニトロールの舌下投与により胸痛は改善し ST 低下も回復したが血圧の急激な低下がみられた。救急車で青梅総合病院に搬送され II III aVF で ST 上昇が出現し緊急 CAG を施行した。右冠動脈の中間部に高度狭窄を認め、同部に PCI (ステント) を施行した。左前下行枝と回旋枝にも 50% の狭窄を認めた。ニトロールにより虚血は改善したものの脱水などが関与し過度の血管拡張による血圧低下が生じたと考えられた。心不全徴候がなければ血管確保し補液を行いながらニトロールを投与することが安全な対処方法と思われた。

(青梅市 梅郷診療所 江本 浩)

《学術講演会要旨 4》

日時：平成 18 年 10 月 11 日 (水)

場所：公立阿伎留医療センター 講堂

演題：「過活動膀胱の新しい治療 ～ Neuromodulation を含めて～」

講師：日本大学総合科学研究所 教授 滝 本 至 得 先生

男女を問わず、昼夜間の頻尿症状は QOL を損なう重要な病態です。従来、尿意切迫感を伴う頻尿症状に対して、不安定膀胱とか過緊張膀胱などと呼ばれていましたが、この尿意切迫感を伴う頻尿症状に対して、2002 年に国際尿禁制学会 (International Continence Society : ICS) で過活動膀胱 Over active bladder (OAB) と名付けられました。正式な定義は、「尿意切迫感を持った昼間頻尿および夜間頻尿で、尿失禁はなくてよい」ということで、しかも、特別な検査を要せず症状に基づいた診断が可能となったということが特徴です。OAB の病因としては、脳幹部橋より上位の中樞の障害や脊髄の障害による神経因性のものと、非神経因性として下部尿路閉塞 (前立腺肥大症など)、加齢、骨盤底の脆弱化 (主に女性) などが考えられています。そこで、加齢や前立腺肥大症に付随して生ずる OAB は最もポピュラーでありますので、その治療法を中心に述べてみたいと思います。また、演者は糖尿病神経症としての膀胱機能について研究してきましたので、糖尿病のある時期におこる頻尿症状との関連性についても述べさせていただきます。OAB の薬物療法については、下部尿路における受容体の研究が盛んに行われ、現在の神経泌尿器科領域のトピックスになっていますし、産学協同で多数の薬物が開発され、臨床応用されています。

最後に、薬物療法以外の治療法としての理学療法にも触れますが、特に、私どもが経験してきた仙骨神経電気刺激による Neuromodulation (現在、本邦では中断しています) についてご紹介いたします。講演内容がはなはだ多岐にわたりますが、今後の診療にいくらかでもお役に立つことができれば幸いです。

広 報 部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成18年10月1日現在

診 療 科	月	火	水	木	金
新 患 担 当	野口	名和	大友	今井	高橋(眞)
総 合 担 当	交代で	交代で	交代で	交代で	交代で
血 液 内 科	熊谷	今井	今井	久保	熊谷・鈴木(午後)
内分泌代謝科	名和・新井	比嘉・名和(午後)	新井	新井	名和
腎 臓 内 科	栗山	木本	江渡	栗山	木本
神 経 内 科	高橋	横手	原・高橋(午後)	高橋	竹尾
呼 吸 器 科	遠藤・富島	高野・土田		富島・杉浦	高野
消 化 器 科	芦沢 濱野	細井 草野	高橋(英) 石井	野口 濱野	細井 船岡
循 環 器 科	清水(茂)・秦野	大友・大坂	澤田	栗原・坂本	大西・高山
リウマチ膠原病科	長坂(午後)		長坂(午後)		長坂(午後)
外 科	保坂・佐藤	正木・杉崎	青木・山崎	正木・杉崎	青木・日吉
胸部外科(心・呼)	大島(午後)		白井(午後)		
脳神経外科	高田		高田	森本	富士井
整 形 外 科	当番医	松岡・宮武・八木	松岡・大久保・渡辺	当番医	大久保・宮武・八木
産婦人科 妊婦	吉川	仁平	関口	依光あ	篠原
婦人予約	依光あ・関口	陶守・小野	篠原	仁平	陶守・小野
婦人一般	陶守/小野・仁平	依光あ・篠原	小野・仁平・吉川	陶守・吉川・関口/篠原	依光あ・関口
皮 膚 科	馬場	馬場	馬場	馬場	佐々木
泌 尿 器 科	友石	足立	藤岡	友石	当番医
小 児 科	林・奥山・笹本・神田	奥山・安藤・竹村	林・小山・神田	奥山・安藤・笹本	林・小山・竹村
眼 科	森・非常勤	森・小林	非常勤	森・小林	森
耳鼻咽喉科	当番医	堤・片山	当番医	片山・加藤	堤・加藤
精 神 科 新患	山口	菊地	日野	菊地	三ツ汐・井上
再来予約	三ツ汐・日野	山口	三ツ汐・菊地	山口・日野	菊地・井上
放 射 線 科	佐藤(IVR)				鮎川(放治)
リハビリテーション科		原田		原田	
口 腔 外 科	黒川	黒川	佐藤・黒川	黒川	黒川

※ 内科系の網掛けは、予約診察です。

※ 複数の医師を／で区切っているのは、週ごとに交代での診察となります。

※ 休診、または代診等で当日の担当医が変更となる場合がありますので、御了承ください。

平成18年9月

公立福生病院 外来診療担当医表

診療科目	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科	1診 松原		岩科		岡田	神経内科:栗原 (2・4週予約制)	北島	ふるえ・もの忘れ外来 柴木(予約制)	竹内(休)	
	2診 大野(休)	呼吸器:中野	竹内(休)	消化器:中村	安武		松原		長谷川(休)	
	3診 岩科		(循環器科)		(循環器科)	内分泌代謝:岩科 (予約制)	竹内(休)	膠原病:馬場 (予約制)	田内	(循環器科)
神経科										神経科:原 (1・2・3・4週)
循環器科	予約検査		秋山(一) (予約制)	循環器外来:森島 (2時～5時)	秋山(一) (予約制)	予防接種(予約制):清水 (1時30分～2時)	西尾	心臓外来(予約制) 第3週(3時～) 乳児検診(6・9ヶ月) 2・4週	松山	乳児検診(予約制) 清水(毎週)
小児科	松岡	慢性疾患外来:松山 (毎週1時30分～4時)	五月女	慢性疾患外来:清水 (毎週)	清水	内分泌代謝外来:樋口 2週(1時30分～3時)	諸角(予約制)	乳腺外来:五月女 (予約制)	古川	
外科	諸角 平野		宮崎 高原		五月女 山内		仲丸		長谷川(小)	
整形外科	初診 加藤	手術日	谷川	予約検査	当日担当医	手術日	柴崎	予約検査	加藤(1・3・5週) 谷川(2・4週)	手術日
	再診 柴崎		吉田	柴崎	谷川		加藤	吉田	吉田	
脳神経外科	小山		小山	脳ドック(予約制)	当日担当医		小山	手術日	中川	
皮膚科	稲岡	手術日	稲岡	予約外来	長島(初診)	予約外来	稲岡		稲岡	予約外来
泌尿器科	堀永 松井	予約検査 小児泌尿器科外来:川村 1週(1時30分～4時30分)	名出	手術日	松井	予約検査	小坂	手術日	堀永	予約検査
産婦人科	1診 (産科)	予約外来:岩佐	岩佐	手術日	清水	予約外来:菅原	菅原	手術日	岩佐	産後健診
	2診 (婦人科)	中高年外来:鈴木 (1時30分～4時30分)	酒井		菅原		岩佐	予約外来:清水	清水	
眼科	秋山(休)	予約検査	秋山(休)	手術日	秋山(休)	予約検査	秋山(休)	予約検査	秋山(休)	
耳鼻咽喉科		大野(休) (2時～4時)	勝又 野田	守田 (2時～4時)	守田		鈴木 野田 栗原	松田 (2時～4時)		大野(休) (2時～4時)
ペインクリニック										
検診	大久保				大荷		大城		今井	

*受付時間 AM8:30～AM11:30まで

< PM1:00～(診療科によって異なりますのでご確認ください)

(作成 8月25日)

公立阿伎留医療センター 外来部門診療担当医表 (診察は予約を要します)

平成18年10月1日

	月	火	水	木	金	土
内科 10-1	(専門) 西成田 進 糖尿病(午後のみ)	西成田 進		(専門)西成田 進・柳田 和弘 糖尿病(午後のみ) 柳田第1・3週	西成田 進	
10-2	青木 正紀	青木 正紀		小野 真一(神)	青木 正紀	
10-3	水村 賢司	(専門) 塩田 宏嗣 神経内科	水村 賢司	水村 賢司		
10-5		金子 菜穂	土屋 貴彦	金子 菜穂	土屋 貴彦	
10-6			(専門) 西成田 進 リウマチ科		早川 純子 第2・4午後のみ	
11-1	鬼田 敬洋(循)	(専門) 江本 浩 循環器科(午後のみ)	鬼田 敬洋(循)	鬼田 敬洋(循)		
11-2		(専門) 隈部 威道 (ペースメーカー) 第2・4週	矢嶋 真弓(消)		隈部 威道(循)	
11-3	永田 靖彦(消)	(専門) 佐野 茂男 HOT (第1・3午後)	永田 靖彦(消)	永田 靖彦(消)		
11-5	大西 鉄夫		大西 鉄夫	(専門) 蓬田 茂(腎)		
	(専門) 戸澤 育文 (緩和ケア科) 午後2～4時			(専門)伊藤 博信 (緩和ケア科) 午後2～4時	(専門) 岡田 清己 (泌尿器科) △ 午前のみ	
救急科	櫻井 淳 北畑 有司	北畑 有司	櫻井 淳 北畑 有司	櫻井 淳 北畑 有司	櫻井 淳	
血液透析	仲野谷祐嗣	朝岡 博	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤 安男	佐藤 安男
人間ドック		西成田 進				
小児科	森本 繁夫 劉 美成	森本 繁夫 劉 美成	森本(第2・4) 劉 (第1・3) 岩本 孝夫 予防接種(予約)	森本 繁夫 劉 美成	森本 繁夫 劉 美成	
専門外来(午後)		乳児検診(予約)		予防接種(予約)		
外科 1	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	柴田 昌彦	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	休
2	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	平野 由美(形成)	平野 智寛	阿部 英雄	
3		乳がん検診 (1時～2時)	阿部 英雄			
整形外科	若林 健 小野 秀樹	若林 健 根本 菜穂	小野 秀樹 根本 菜穂	若林 健 根本 菜穂	若林 健 小野 秀樹	
脳神経外科	伊藤 宣行	脊山 英徳	前村 栄治	伊藤・◆河合	河合 拓也	
皮膚科	石田 正	早川 和人・青田 典子 午後2時～(第1・3・5) 稲岡 峰幸・青田 典子 午後2時～(第3・4)	青田 典子	順毛 直弥(第1・2・4) 木下 妙子(第3)	堀田 隆之(第1・3) 福田 知雄(第2) 井上 桐子(第2・3・4) 青田 典子(第4)	診
泌尿器科	1 佐藤 安男 2 朝岡 博	1 仲野谷祐嗣 2 朝岡 博	1 佐藤 安男 2 仲野谷祐嗣	1 朝岡 博 2 仲野谷祐嗣	1 岡田 清己 2 朝岡 博	
産婦人科	見人科 森田 和雄 産科 吉村 理	吉村 理 百村 麻衣	齊藤 博恭 吉村 理	石井 尊雄 吉村 理	吉村 理 森田 和雄	
眼科	松木奈央子 増本美枝子	松木奈央子 増本美枝子	松木奈央子	木村 隆 松木奈央子(手術) 増本美枝子(手術)	増本美枝子	
	予約検査	手術	予約検査		予約検査	
耳鼻咽喉科	青木 大輔(第3・5) 大畑 敦(第4)	大畑 敦	午後2時～ 田中 是	大野 俊哉(第1・3・4)	午後2時～ 谷 康寛	
麻酔科		清水 健次			相田 純久	
歯科口腔外科	山下千穂・荻野靖人	山下 千穂	山下 千穂	山下 千穂	山下 千穂	

◆脳外科木曜日の午後診療(専門外来「もの忘れ外来」を含む)は、河合が担当します。

内科外来・検査担当医表（診察は予約を要します）

平成18年10月1日

	月	火	水	木	金	土
外 来 10-1	(専門) 西成田 進 糖尿病 (午後のみ)	西成田 進		(専門)西成田 進・柳田和弘 柳田第1・3 (午後のみ)	西成田 進	
10-2	青木 正紀	青木 正紀		小野 真一(神)	青木 正紀	
10-3	水村 賢司	(専門) 塩田 宏嗣 神経内科	水村 賢司	水村 賢司		
10-5		金子 菜穂	土屋 貴彦	金子 菜穂	土屋 貴彦	
10-6			(専門) 西成田 進 リウマチ科		(専門) 早川 純子 (第2・4週午後のみ)	
11-1	鬼田 敬洋(循)	(専門) 江本 浩 循環器科(午後のみ)	鬼田 敬洋(循)	鬼田 敬洋(循)		
11-2		(専門) 隈部 威道 ペースメーカー (第2・4週)	矢嶋 真弓(消)		隈部 威道(循)	
11-3	永田 靖彦(消)	(専門) 佐野茂男 (HOT) (第1・3週午後)	永田 靖彦(消)	永田 靖彦(消)		
11-5	大西 鉄夫		大西 鉄夫	(専門) 蓬田 茂 (腎)		
	(専門) 戸澤 育文 緩和ケア科午後2～4時			(専門) 伊藤 博信 緩和ケア科午後2～4時	(専門) 岡田清己 泌尿器科(午前のみ)	
救 急 科	櫻井 淳・北畑 有司	北畑 有司	櫻井 淳・北畑 有司	櫻井 淳・北畑 有司	櫻井 淳	
救 急	午 前	土屋 貴彦	鬼田 敬洋	隈部 威道	鬼田 敬洋	当 直 医 師
	午 後	土屋 貴彦	隈部 威道	青木 正紀	水村 賢司	
MDL	技 師		技 師		技 師	
胃 カ メ ラ	永田 靖彦 (緊急時)	田原邦朗(大西鉄夫)		南雲 大暢	矢嶋 真弓	
大腸・ERCP		柴田 昌彦 矢嶋 幸浩	西田 茂 永田 靖彦(第3)	永田 靖彦 (緊急時のみ)	柴田 昌彦 矢嶋 幸浩	
気 管 支 F					(水村 賢司)	
腹 部 エ コ ー		栗田 榮子(検査技師)	矢嶋 真弓	栗田 榮子(検査技師)	矢嶋 真弓	
心 エ コ ー			隈部 威道		鬼田 敬洋	
トレッドミル					鬼田 敬洋	
ホルター心電図			隈部 威道		鬼田 敬洋	
エルゴメーター負荷心電図			隈部 威道			
カテ (午後)	鬼田 敬洋・江本 浩			鬼田 敬洋・隈部 威道		
血 液 透 析	仲野谷祐嗣	朝岡 博	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤 安男	佐藤安男
リ ニ ア ッ ク	大西 鉄夫	医師の都合により曜日の変更あり (確認の必要あり)				
ESWL(結石破砕)						
人 間 ドック		西成田 進				
研 修 日	隈部 威道	鬼田 敬洋				

外科診療担当医表

平成18年10月1日

	月	火	水	木	金	土
外 来 1	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	柴田 昌彦	柴田 昌彦	矢嶋 幸浩	
2	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	平野由美 (形成)	平野 智寛	阿部 英雄	
3			阿部 英雄		柴田昌彦(第1)	
乳 検		矢嶋・阿部 (1～2)				
超音波	阿部英雄 (9～10)		平野智寛(9～10)	矢嶋 幸浩(9～10)	(永田 靖彦)	
透 視		柴田昌彦 (回診後)		阿部英雄(回診後)		
病 棟	阿部英雄(10～) 平野 智寛	柴田 昌彦 平野 智寛	矢嶋幸浩 (10～) 平野 智寛	阿部 英雄 平野 智寛	柴田(第1週朝回診) 平野 智寛	

● 理事会報告

★ Information ●

9月定例理事会

平成18年9月26日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・鹿児島・小林・鈴木・田坂・蓼沼・中野・西成田・野本・渡辺（肇）・渡辺（良）・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告

2. 各部報告（各担当理事）

総務部：会館建設準備委員会報告（9／19）横田副会長

候補地の選定の件（会報に記載）10月17日（次回）予定。

第3回西多摩地域脳卒中医療連携検討会報告（9／26）小机副会長

2回にわたるアンケートをまとめた。

11／6に医療連携講演会予定、青梅市立総合病院 7：30～

学術部：学術講演会

- 「過活動膀胱の新しい治療法～neuromodulationを含めて～」

講師：日本大学総合科学研究所 教授 滝本 至得先生

（10／11 公立阿伎留医療センター講堂）

- 「テレビ講演会～学会から生中継」

（10／19 青梅市立総合病院南棟別館 2F第1会議室）

「CASE-J 結果速報」

講師：日本海員救済会 門司病院 院長 柊山 幸志郎先生

- 「日常診る小児外科疾患と専門性の高い小児外科疾患」

講師：日本大学医学部小児外科部門 教授 草深 竹志先生

（10／23 公立阿伎留医療センター講堂）

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：基本健診・子宮ガン健診の注意点についてコメント・注意点。

福 生：なし。

羽 村：基本健診のあり方についてコメント・注意点。

あきる野：健康生活教室、第2回あきるの健康フェア（講師決定）

瑞 穂：基本健診のあり方についてコメント・注意点。

日の出：なし。

4. その他

第28回産業保健活動推進全国会議報告（9／14）（会長出席）

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

A会員：内藤茂憲（医社）珠泉会 いなメディカルクリニック

B会員：介護老人保健施設菜の花1名、東京海道病院1名。

名称変更：（新）公立阿伎留医療センター （旧）公立阿伎留病院

H 18.8.1 より改名。

【3】協議事項

1. 平成クリスマス会について（小林理事）

12月11日フォレストインにて 19：30～、内容の詳細は伝言板に記載。

会費など開催要項については前年同様とする。

会費：A会員 15,000円 B会員 5,000円 同伴者 4,000円

2. 学校保健委員会設置推進への協力について（鈴木理事）

3. 高齢者インフルエンザ接種補助費の減額について（継続）

10月第1週緊急課長会で協議予定。医師会としては減額に応じずと解答。（継続）

4. その他

平成18年度多摩地区医師会懇話会出欠の件（11月11日（土））。

学術講演会（野本理事）H 19.2.24 14：00～羽村で開催（場所、詳細未定）

10月定例理事会

平成18年10月10日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・小机・横田・新井・鹿児島・小林・鈴木・田坂・蓼沼・中野・西成田・渡辺（肇）・
渡辺（良）・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 各部報告（各担当理事）

学術部：○学術講演会 11.21（青梅市立総合病院）

「one airway, one disease 一気管支喘息の考え方」

講師：昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科医長 國分 二三男先生

○学術講演会 11.29（青梅市立総合病院）

「イベントフリーの老後を目指して」

講師：東京大学医学部附属病院検査部講師 下澤 達雄先生

保険部：市町村国保主務担当者懇談会 11.15（医師会館）

PM 13時30分～ 会員参加自由。

ニューメディア委員会（中野理事）

「電子カルテ・電子請求」のセミナー（仮称）開催について

11.16（木）（西多摩医師会館）PM 19：30～

2. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：10／20 懇親会予定。

福 生：健康祭りの準備

羽 村：10／8 三師会フェア、10／24地区会。

あきる野：10／16例会。

瑞 穂：なし。

日の出：なし。

3. その他

なし。

【2】報告承認事項

1. 入会会員について ―― 承認 ――

A会員：森田和雄（森田ウイメンズクリニック）

B会員：新町クリニック1名。

（参考）退会会員：團 志朗、市原 靖（廃業）

【3】協議事項

1. 西多摩地域脳卒中医療連携事業中間報告（小机副会長）

○同連携リストについて

○同講演会開催について

11月6日（月）青梅市立総合病院 南棟講堂 PM19時30分～

演者：西多摩地域脳卒中医療連携検討会委員

演題：医療連携システム構築に関する事業について

連携リストについて

患者情報シートについてほか

2. 平成18年度かかりつけ医認知症対応力向上研修について（野本理事）

講師依頼については野本理事に一任。

3. 高齢者インフルエンザ接種補助費の減額について（再継続）（新井理事）

前年同様各市町村と契約予定。

執行部としては反対の意をのべた。返答：①今年は例年通り、来年度以降は協議する。

②医療協と11月中旬に話し合いの予定。

4. その他

○（医社）博生会 西多摩病院 入会金の件。

18年10月～6回にて分納予定。

○市民健康講座会場

羽村市コミュニティセンター PM1:00から5:00

2／24（土）に決定。講演PM2:00～4:00「心の健康を考えよう」

○三師会 2月17日（土）時間未定。

学術主催で市民健康講座。

会 員 通 知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（10/11）（10/19）（10/23）
- 高齢者インフルエンザ予防接種について
- 「西多摩地域脳卒中医療連携に関する講演会」のお知らせ（11/6）
- 会館建設準備委員会開催について（10/17）
- 国保保険請求・審査に関する質問意見等提出のご依頼
- 多摩医学会講演会抄録
- 知って防ごう性感染症 チラシ
- 東京都の養育家庭（ほっとファミリー）制度とは
- 予防接種講演会 チラシ・ポスター
- ぜん息予防講演会「子どものアレルギーを正しく知ろう」チラシ
- 乳がん検診を受けましょう
- 「医師と歩こう！健康日本21推進フェスタ2006」 チラシ・ポスター

- 青梅市立総合病院だより
- 産業医研修会（12/2 東京都医師会）
- 〃 （11/25 練馬区医師会）
- 〃 （11/18 日本橋医師会）
- 〃 （10/14 玉川医師会）
- 〃 （12/17 慶応医師会）
- 〃 （11/1 葛飾区医師会）
- 〃 （12/16 三鷹市医師会）
- 第5回西多摩消化器疾患カンファレンスのご案内
- 「平成18年10月1日から健康保険法等が改正され患者さんの負担額が変わります」
- 「平成18年10月1日から老人保健法の一部負担金等の改正に伴い（福）（障）（親）の自己負担限度額が変わります」
- 参議院議員武見敬三講演会「東京の医療を考える」についてのお願い

医 師 会 の 動 き

医療機関数	208	病 院	29
		医院・診療所	179
会 員 数	480	A会員	200
		B会員	280

会議

10月10日	定例理事会
13日	在宅難病調整委員会
17日	会館建設準備委員会
23日	会報編集委員会
31日	定例理事会

講演会・その他

10月7日	保険指導整備委員会
11日	法律相談
11日	学術講演会
	演題：過活動膀胱の新しい治療 ～neuromodulationを含めて～
	講師：日本大学総合科学研究所 教授 滝本 至得 先生
19日	学術講演会（テレビ講演会）
	演題：CASE-J 結果速報！ 学会会場から生中継

演者：日本海員救済門司病院
院長 柊山 幸志郎 先生

23日 学術講演会
演題：日常診る小児外科疾患と
専門性の高い小児外科疾患
演者：日本大学医学部外科学講座
小児外科部門
教授・小児外科部長
草深 竹志 先生

28日 多摩医学会学術講演発表会

役員出張

10月17日	健診・保健指導担当理事連絡会
20日	東京都医師会地区医師会長協議会
23日	休日・全夜間診療事業実施対策協議会
24日	参議院議員武見敬三先生 安倍内閣の厚生労働副大臣就任披露祝賀会
28日	西多摩歯科医師会60周年式典

お知らせ事務局より **お 知 ら せ**

平成 18 年 12 月 (11 月診療分) の

保 険 請 求 書 類 提 出**12 月 8 日 (金)**

—— 正午迄です ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第 2 水曜日午後 2 時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相 談 日 11 月 は 8 日 (水)
 12 月 は 13 日 (水) の予定です。
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相 談 料 無料 (但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 **西 多 摩 医 師 会**

平成18年11月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 鹿児島武志

宮下吉弘 野村中夫 近藤之暢 渡辺良友 江本 浩 細谷純一郎
道又正達 古川朋靖 鈴木寿和 馬場眞澄 石井好明

印 刷 所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

レセコンから今、多機能電子カルテ時代へ。

「Medical Station」は診療・検査から会計まで、医療現場をまるごとサポート。
医療スタッフの煩雑な作業を軽減するだけでなく、インフォームドコンセントや待ち時間の短縮など質の高いサービスを実現。

検査結果は暗号化したインターネット・メールで、依頼日の翌朝にはシステムに自動的に取り込まれます。検査センターならではの充実した検査機能のほかに、レセコン機能による診療費計算の自動化、さらには経営分析にも手軽に活用でき、医療の現場をトータルにサポートします。



画期的な新技術により「非改ざん証明」を初めて実現しました

(株)NTTデータとの提携により、厚生省の医療情報電子化3基準のうち最も実現が難しかった「真正性の確保」を日本で初めて技術的に可能にしました。過去のカルテ情報に不正な改変のないことをNTTデータのSecureSealTMセンタ(電子文書証明センタ)が厳密に第三者的に証明します。

ハイパフォーマンス電子カルテシステム

Medical Station

お問い合わせ・資料請求先
株式会社ビー・エム・エル
医療情報システム部
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL 03-3350-0392
e-mail ms-sales@bml.co.jp
<http://www.bml.co.jp/>

開発元
株式会社メリッツ
戦略システム開発部
〒350-1101 川越市市場1361-1
TEL 049-233-7074